



谷澤 政司 議員

豪雨・地震災害の危機管理から「命の道」である道路整備を!!

主要な道路整備の進捗状況

【問】高山インターから丹生川インターは。

【答】来年度以降、用地買収に着手する。

【問】長野県側の奈川渡ダム付近は。

【答】今年度から、奈川―安曇区間の調査設計に着手した。

【問】高山国府バイパス1工区（41号冬頭町交差点―高山インター）と、2工区（上切町―国府町金桶）は。

【答】平成25年度、1工区を暫定供用に、2工区を完成供用に。

【問】41号の宮峠トンネル化は。

【答】現在、用地測量と物件調査を実施。来年度以降用地買収に着手する。

【問】41号の阿多粕改良（小坂久々野バイパス）は。

【答】現在、8日町側で道路設計と地質調査を実施。蔵柱地内で用地測量と用地買収、一部工事を実施し、来年度も継続する。

【答】トンネルは貫通し、橋梁も順調に進捗。平成25年度の供用開始を目標に進める。

【問】高根町上ヶ洞トンネル工事は。

【答】現在、1工区の掘削工事が進んでいる。残り2工区も早期の発注を県へ要望している。

【問】江名子町―久々野町大西間で、八月の豪雨による法面土砂崩れがあった。未だ片側通行だが復旧は。

【答】法面の安定工法を採用し来春までの完成をめざす。

【問】国府見座線（通称・十三墓峠）は。

【答】現在、八日町側で道路設計と地質調査を実施。蔵柱地内で用地測量と用地買収、一部工事を実施し、来年度も継続する。

将来を見据えた健全な財政運営の推進を

【問】人口減少や全国的に災害が増す中、早期に身の丈に合った財政規模が必要だが。

【答】引き続き行財政改革を進め、予算規模の適正化に努める。

監査委員の指摘への対応と監査の強化を

【問】一部の地域支援策に監査委員から負担割合の指摘があるが。

【答】指摘の受益者負担適正化に努め、予算執行していく。

【問】健全な財政運営のため、支所地域も含め監査の強化は。

【答】支所監査も含め監査の充実を図る。



工事が進む中部縦貫道（冬頭町方面へ）



今井 武男 議員

世界に向けた観光戦略!!

市長の海外訪問の成果と海外戦略

【問】市長の海外訪問の成果は。

【答】高山市のトップが海外の窓口をノックし、高山市の伝統、文化、産業を含めた観光のPRに努めた。

【問】海外戦略についてはどんな考えを持っているか。

【答】今後は欧米・台湾・東アジア・中国・韓国などを中心に、重点的に力を入れていきたい。

災害緊急時における給水車の配備は

【問】友好都市等との協力体制の中で、高山市では給水車の整備はしないのか。

【答】災害時、市民への給配水確保と病院、特に透析患者へ水の確保

「新規就農者確保事業」の取り組みは

【問】国における「新規就農者確保事業」についての問題点と、農業振興対策については。

【答】農業経営者育成機関や先進農家等で研

保等を含めた給水車の維持管理を検討していきたい。

国の「総合特区」

【問】次世代における国の「総合特区」について、高山市ではどう対応するのか。

【答】岐阜県が特区申請した次世代エネルギーなど三件について特区認定された場合には、市長約束である「太陽光等の自然エネルギー利用日本一の環境都市を目指す」の達成に大きな効果がある。

旧学校跡地への標柱設置の考え

【問】学びのある学舎跡地への標柱設置は。

【答】標柱の設置は学校教育ばかりではなく、社会教育全般にわたり意味がある。設置を検討したい。特にその地に親しみのあった方々の思いを大事にしたい。



災害時に有用な給水車